

★ センターからのお知らせ ★

◆ 世界エイズデー in Yokohama 2018 終了しました!

日時：2018年11月17日(土) 11:00~16:30
会場：新都市プラザ(横浜駅東口)
主催：横浜 AIDS 市民活動センター

参加団体：認定 NPO 法人 AIDS ネットワーク横浜、特定非営利活動法人 SHIP
アジアの女性と子どもネットワーク、公益財団法人横浜 YMCA
一般社団法人神奈川県臨床検査技師会 STI 予防啓発委員会、



若者向け意識調査は昨年の2倍以上の参加がありました。

延べ 1,450 人の参加がありました。

◆ 啓発パンフレット・チラシのご案内

横浜 AIDS 市民活動センターは横浜市内でエイズに関連する活動を行う学校・団体・ボランティアに啓発パンフレット・チラシ等を無料で配布しています。エイズ以外に性感染症・性に関する様々な種類があります。お気軽にご相談ください。



左) 横浜市健康福祉局健康安全課発行 梅毒についてのちらし



右) 特定非営利活動法人 SHIP のセクシュアルマイノリティへの支援「SHIP にじいろキャビン」のパンフ

左) 横浜市中区夜間休日エイズ電話相談をしている AIDS ネットワーク横浜のパンフ



<NPO/NGO情報>



上) NGO LAP が行っている HIV 陽性者・免疫機能障害者のためのグループミーティングのカード

◆ 2019 年度青少年向け啓発事業の募集について

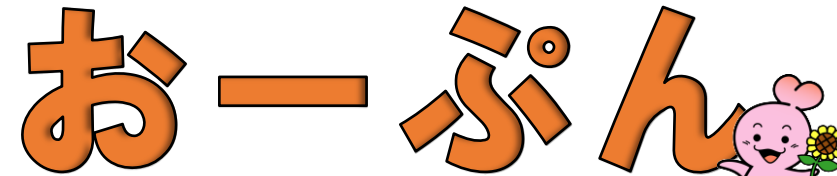
横浜 AIDS 市民活動センターが行う 2019 年度青少年向け啓発事業の募集受付は、2019 年 3 月初旬より予定しています。(応募要項は 2 月下旬にセンターの HP に掲載予定。横浜市立の小中高校には要項を送付します。)

【青少年向け啓発事業とは】

横浜市内の学校及び団体の青少年(小学校高学年・中学生・高校生)を対象に、エイズについての正しい知識の普及及び患者・感染者への理解を図るために、センターが委託した NPO/NGO 等から講師を派遣し、エイズに関する講演会やワークショップを無料で実施します。

お問い合わせ：横浜 AIDS 市民活動センター Tel 045-650-5421

HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説!



URL <https://yaaic.gr.jp/>

発行：横浜 AIDS 市民活動センター
公益財団法人横浜 YMCA が横浜市から事業を受託しています。

〒231-0015 横浜市中区尾上町 3 丁目 39 番
地尾上町ビル 9F / TEL: 045-650-5421
FAX: 045-650-5422 / E-mail: info@yaaic.gr.jp
平日: 13:00~20:00 / 土・祝: 10:00~17:00
休館: 日/火
監修: 横浜市健康福祉局健康安全課

特集 UPDATE! 世界の HIV/エイズと人権

性・エイズに関する学習会 2019

《 大人もわかっていない性について 》

日時：2019年3月21日(木・祝) 10:30~12:00

講師：遠見 えんみ さきこ 才希子さん『ひとりじゃない~自分と心を大切にすって?~』著者

内容：「子どもに、どのようにカラダの変化について話をよいかかわらない・・・」「性って、学校で勉強するかな?」「AV(アダルトビデオ)が『教科書』化されているって、どういうことかな?」・・・こんな話を耳にします。
子どもも大人も、からだやこころの疑問や心配事を、SNS を使って検索し、全て解決できるのでしょうか?
今、必要とされている性の知識を学び、新年度を迎えましょう。



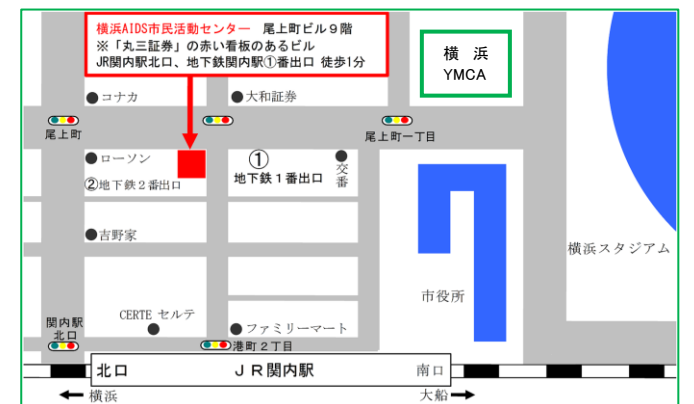
一講師経歴一医大入学後、性教育のピアエデュケーションを全国で行い、「えんみちゃん」の愛称で人気のある現役産婦人科医。筑波大学大学院社会精神保健学在学中

会場：横浜 AIDS 市民活動センター
横浜市中区尾上町 3 丁目 39 番地尾上町ビル 9F
JR 関内駅北口/地下鉄関内駅 1 番出口より徒歩 1 分
丸三証券のビルの 9 階です。

定員：15人 事前申込制
参加費：無料

申込方法：件名に「3月講座申込」、本文にお名前・ご連絡先をご記入の上、横浜 AIDS 市民活動センターまで E-mail か FAX でお送りください。
(受付後、折り返しご連絡いたします。1 週間以上も返信がない場合はお手数ですがお電話ください。)

E-mail info@yaaic.gr.jp
FAX 045-650-5422



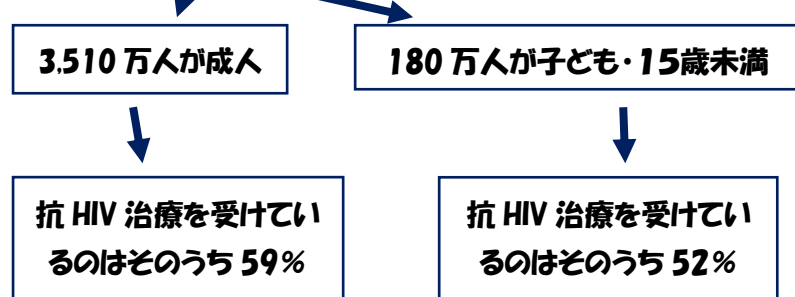
講座に関するお問い合わせは：
横浜 AIDS 市民活動センター Tel 045-650-5421

特集 アップデート UPDATE! 世界の HIV/エイズと人権



… 2017 年度世界の HIV/エイズの状況 …

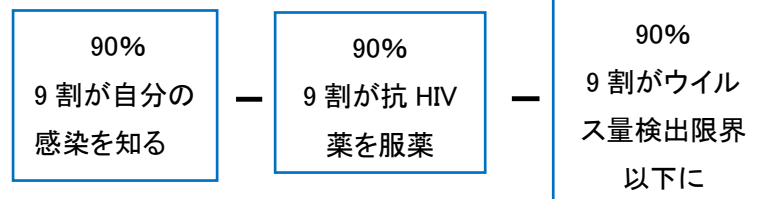
今 **3,690 万人** が HIV とともに生きています。



☆自分が HIV に感染しているかを知らず、その後 HIV 感染が見つかったとしても、治療をきちんと続けていける子どもはごくわずかです。
 ☆全世界で 3 分の 1 以上(35%)の女性が、生涯に身体的・性的暴力を受けています。暴力を受けたことのある女性が 1.5 倍 HIV に感染しやすくなっている地域もあります。

国連合同エイズ計画
UNAIDS が 2030 年までにエイズ流行終結のため

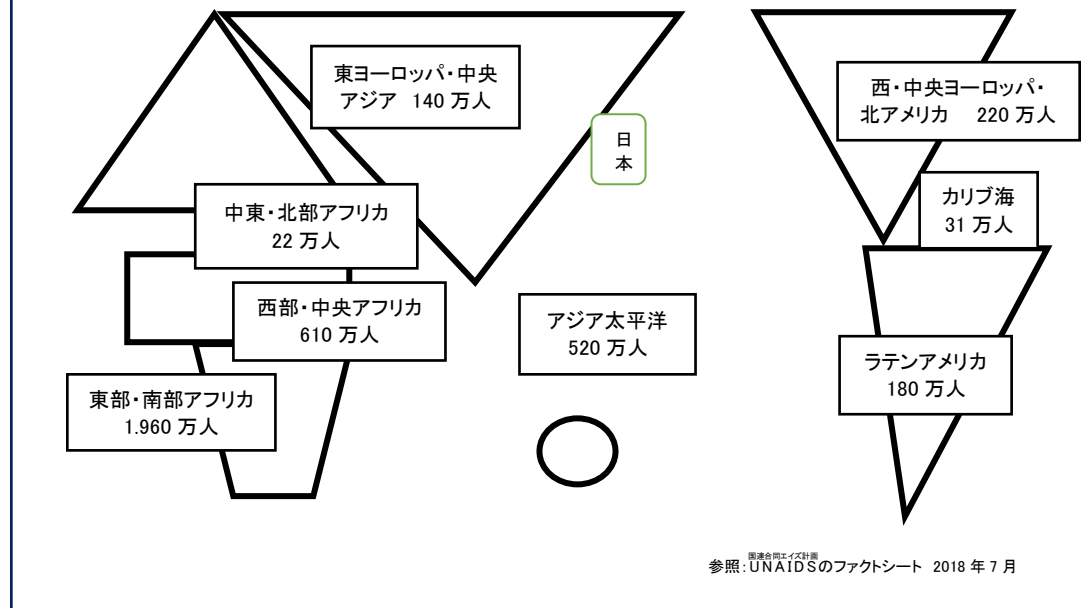
目標にしている「90-90-90」とは？



参照: UNAIDS のファクトシート 2018 年 7

… HIV と共に生きている人々は 3,690 万人 …

(HIV 陽性者総数の地域別状況)



参照: UNAIDS のファクトシート 2018 年 7 月

日本と状況が異なる国でも、HIV 以外のウイルス感染症でも、ウイルスは悪さをするけど、その人が変わるわけではありません。HIV に感染していても感染してなくても、その人はその人で、差別や偏見に結びつくものではないのです。今から多様な社会にするのではなく、この社会はすでに多様な世界です。

2018 年 12 月 10 日
 世界人権宣言が採択 70 周年を迎えました！

人権とは、人種や民族・性別を超えて、誰にでも認められる基本的な権利で、わたしたちが幸せに生きるためのものです。

世界人権宣言は、20 世紀に起きたふたつの世界大戦を二度と繰り返さないという反省から、「人権を守ることは世界平和につながる」と 1948 年国連総会で採決されました。全ての人民とすべての国が達成すべき共通の基準です。これが揺らぐことがあってはならないのです！

2030 年までの達成課題が、「不平等をなくすこと」「暴力や差別をなくすこと」「地球環境を守ること」を具体的にした 17 の目標「持続可能な開発目標: S D G s」です。「今のわたしはどうだろうか?」「見落としてはないだろうか?」の気づきが解決への一歩です。達成状況を世界中が見ています！
 … キーワード「誰ひとり取り残さない」…

参照: 国際連合広報センター-HP

世界エイズデー(12 月 1 日)に
 HIV/エイズ感染予防啓発の動画が公開！

「手話と字幕でわかる HIV/エイズ感染予防啓発」
 監修/特定非営利活動法人ぶれいす東京

聞こえる人も、聞こえない人もどちらにも伝わる最新の動画です。HIV とエイズの説明や体験談、エイズをめぐる最新情報など 14 分 38 秒で見ることができます。勉強会や人権研修にも使用できます。

YouTube から「手話と字幕で分かる HIV/エイズ感染予防啓発動画」を検索してください。

日本は今も多くの人権問題を抱えていて、世界人権宣言や人権条約が十分に生かされているとは言えません。必要な支援にたどりつくまでの壁がいくつもあります。HIV・エイズの正しい理解を広める活動とともに、人権が守られ、個人が尊重され、「世界人権宣言」前文にうたわれている「恐怖及び欠乏のない世界の到来」が、世界中にあふれるよう努力して行きましょう。

ひとりひとり、自分の人生をデザインできることがすばらしいのです！

コムちゃんより

